

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	④障がい福祉	①	障がい者の日常生活及び社会生活に対する総合的な支援

事業名	住宅改造助成事業	担当課名	障がい福祉課
-----	----------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
障がい者の生活環境の整備のため、日常生活の最も基礎となる住宅の改造に必要な経費を助成することで、障がい者の生活の利便の増進を図ります。
(事業概要等)
在宅の重度障がい者が住み慣れた地域で自立し、安心して生活ができるよう、日常生活の最も基礎となる住宅の改造に必要な経費を助成します。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	65	100	196	600	
うち市負担分(千円)	38	52	99	300	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
住宅改造助成制度利用件数	件	1	1	1	3
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
住宅改造費用の助成により、在宅の重度障がい者が住み慣れた地域で暮らし続ける居住環境の整備を図ることができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	特筆すべき課題(問題点)はない。
-----------------	------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 障がい者の居住環境の整備策として一定のニーズがあり、着実に実績を積み重ねてきた事業である。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	④障がい福祉	①	障がい者の日常生活及び社会生活に対する総合的な支援

事業名	身体障がい者自動車改造助成金	担当課名	障がい福祉課
-----	----------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
障がい者の就労環境の整備のため、通勤等に利用する自家用車の改造に必要な経費を助成することで、障がい者の経済的自立を図る。
(事業概要等)
身体障がい者が就労等に伴い自動車を取得する場合、その自動車の改造に要する経費を助成する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	100	0	100	300	
うち市負担分(千円)	100	0	100	300	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
自動車改造費用助成制度利用件数	件	1	0	1	3
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
自動車改造費用の助成により、障がい者の就労環境の整備を図ることができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	特筆すべき課題(問題点)はない。
-----------------	------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 障がい者の就労環境の整備策として一定のニーズがあり、着実に実績を積み重ねてきた事業である。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	④障がい福祉	①	障がい者の日常生活及び社会生活に対する総合的な支援

事業名	福祉タクシー事業	担当課名	障がい福祉課
-----	----------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
在宅の重度心身障がい者(児)の生活行動範囲の拡大と社会参加を促進し、重度心身障がい者(児)の福祉の増進を図る。
(事業概要等)
在宅の重度心身障がい者(児)に対し、タクシーの利用料金の一部(初乗り運賃相当分)を助成する。

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	11,155	10,969	10,824	14,023	
うち市負担分(千円)	11,155	10,969	10,824	14,023	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
タクシー券利用件数(枚数)	枚	16,538	16,219	16,011	20,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
タクシー利用料金の一部助成により、在宅の重度心身障がい者(児)の外出を促進することができた。なお、近年の利用数の減少傾向については、コロナウィルス感染拡大防止の為、社会全体として移動(外出)が抑制されてきた影響があるものと考えられる。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	特筆すべき課題(問題点)はない。
-----------------	------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 障がい者の社会参加のための支援策として一定のニーズがあり、着実に実績を積み重ねてきた事業である。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	④障がい福祉	③	障がいに対する理解を深める市民意識の醸成

事業名	身体障がい者福祉大会等実施事業	担当課名	障がい福祉課
-----	-----------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
障がい者の学習・活動機会の充実のため、各種イベントへの支援を行い、障がい者の自立と社会参加の促進を図る。
(事業概要等)
<small>1. 身体障害者福祉大会 身体障がい者の活動の促進及び相互の親睦を図り、その福祉を増進することに資する行事を実施する。 2. 障がい者レクリエーション大会(泉大津市ふれあいキャンペーン実行委員会主催) 春のイベントとして模擬店、バザーを中心とする「ふれあいフェスタ」を、秋のレクリエーションとして障がい者のグラウンド・ゴルフ大会と軽運動会の二部構成による大会を実施する。 3. 泉大津ふれあい大会(泉大津市ふれあいキャンペーン実行委員会主催) 12月3日～9日までの「障害者週間」中に、障がい者への理解を深める式典、イベントを開催する。 4. 阪南地区身体障害者スポーツ・レクリエーション大会 泉州8市4町の身体障害者福祉会にて構成する阪南地区身体障害者連絡協議会主催による、秋のスポーツ・レクリエーション大会に参加する。</small>

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	116	54	296	1,424	
うち市負担分(千円)	116	54	296	1,424	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
各イベントへの正確な参加人数の把握が困難なため。					
(成果の概要)					
令和4年度は、新型コロナウイルス感染症流行の影響が継続し、障がい者レクリエーション大会が中止となったが、ふれあい大会については、実行委員会にて入念に準備を進め3年ぶりの開催を実現できた。関係者一丸となった事業再開に向けた活動は、関係者間の結束を高め、次年度以降の活動促進につなげることができた。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	安全面に配慮しつつ対面による活動推進を図った。
------------	-------------------------

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	特筆すべき課題(問題点)はない。
-----------------	------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 障がい者の福利厚生、社会参加のためのイベントとして一定のニーズがあり、着実に実績を積み重ねてきた事業である。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	③誰もがすこやかにいきいきと暮らせるまちづくり	④障がい福祉	③	障がいに対する理解を深める市民意識の醸成

事業名	団体等育成支援事業(障がい福祉課)	担当課名	障がい福祉課
-----	-------------------	------	--------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
障がい者の総合的な支援体制の整備のため、障がい者関係団体の活動を支援し、障がい者への支援体制の整備・充実を図る。
(事業概要等)
身体障害者福祉会及び精神障害者家族会に対する活動運営補助金

【事業費】

項目／年度	R02 (決算額)	R03 (決算額)	R04 (決算見込額)	R05 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	150	150	150	461	
うち市負担分(千円)	150	150	150	461	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R02年度 実績値	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
本事業は団体への事業補助であり、各年度の取組みに差異があり、画一的な数値化になじまないため。					
(成果の概要)					
障がい者の総合的な支援体制の整備のため、身体障害者福祉会及び精神障害者家族会の活動を支援することにより、身体障がい者及び精神障がい者への支援体制の充実を図ることができた。 なお、令和4年度は令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、障がい者福祉大会、身障福祉会社会見学や障がい者スポーツ大会等、長時間にわたる集団での活動は自粛となった。					

【事務の見直し点】

R3年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R4年度における課題(問題点)	特筆すべき課題(問題点)はない。
-----------------	------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 長年の活動実績を有する障がい者当事者団体であり、市として適切に支援する必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	